

本市のデータ

(1)面積 689.60km² (平22.10.1)

(2)人口 (人)

35国調	12国調	17国調	22国調	平24.5.31住基
89,472	65,463	63,046	61,713	59,229
65歳以上人口比率 (22国調)				29.9%

(3)世帯数

35国調	12国調	17国調	22国調	平24.5.31住基
21,262	24,724	25,023	24,972	26,995

(4)沿革

平成17年10月1日合併 浜田市、金城町、旭町、弥栄村、三隅町

(5)産業構造

区分	就業人口	就業人口	就業人口
	45国調	17国調	22国調
1次	23,050 49.2%	2,973 9.4%	2,165 7.4%
2次	8,829 18.9%	7,508 23.8%	6,235 21.4%
3次	14,929 31.9%	20,968 66.5%	20,338 69.8%
計	46,808人	31,534人	29,146人

本市の概要

青い海・緑の大地・人が輝き文化のかおるまち

【概要】

平成17年10月1日に、浜田市、金城町、旭町、弥栄村、三隅町の5市町村が合併し、新「浜田市」が誕生した。

全国に誇れる海、山などの美しい自然と、石見神楽やユネスコの無形文化財遺産に記載された石州半紙などの伝統文化、海水浴場、スキー場、しまね海洋館アクアスなど豊かな自然を活かした観光資源を有しており、また、高速道路、港湾などの都市基盤や大学、美術館をはじめとする教育文化施設が充実した、人と文化と自然の調和のとれた島根県西部の中核都市である。

【地勢】

浜田市の大部分が、丘陵地や山地で、中国山地が日本海まで迫り、また、切り立ったリアス式地形と砂丘海岸の織り成す海岸線は、優れた自然景観と天然の良港をもたらしている。

市には、浜田川、周布川、三隅川等の主要河川が流れており、水資源に恵まれ、河川の下流域には平地を形成し、市街地や農地が展開しています。全体としてまとまった平地は少ないが、豊かな自然を有し多面的機能をもつ中山間地域に恵まれ、国土および環境の保全や地下水の涵養等に大きな役割を果たしている。

【気候】

対馬海流の影響で比較的温暖であり、冬季の積雪も少なく自然環境や居住条件に恵まれた地域である。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

浜田市での自死は、平成10～19年までの10年間平均自殺死亡率は全国及び県平均を上回っている。具体的には毎年約20件発生している。これを受け、平成22年度から次の方針を基に総合的な自死対策を実施する。

- (1) ライフステージ応じた予防事業、啓発活動の推進
→働き盛りの男性と高齢者をターゲットとした対策を重点的に行う。
- (2) 相談窓口の庁内ネットワークの構築

<具体的な取組み>

1 関係部局連絡会議等の設置（庁内連絡会議等）

自死は、様々な要因が重なり発生する。このことから、庁内各関係部局が把握している問題を一元化し、効果的な施策を実施するための連絡会議を設置。

2 自殺対策検討委員会、評価委員会の設置

行政機関だけでなく関係機関（医療、事業主、学校、民間団体等）との密接な連携を図り、事業内容の検討及び評価を行う委員会を設置している。具体的には、市に設置している「浜田市保健医療福祉協議会」を検討・評価委員会とする。

3 講演会

【平成23年度】

市民への啓発を図るため、自死遺族フォーラムを開催し次の内容を実施した。

- (1) 講演（講師：藍の会 田中幸子 代表）
- (2) ミニコンサート（ギター弾き語り 木下徹 氏）
- (3) 遺族は語る（しまね分かち合いの会・虹 桑原正好 代表）
- (4) 自死遺族パネル展（浜田市主催）

4 啓発活動

相談窓口の周知や自死遺族への理解を図るための自死予防グッズを作成した。

- (1) 自死予防パンフレット
- (2) クリヤーホルダー
- (3) ポケットティッシュ

5 職員研修

(1) 平成22年度

【自殺予防にかかる職員研修】

演題：自殺の危機要因への介入「法律相談について」

講師：はまだ市民総合法律事務所 弁護士 田上尚志 氏

(2) 平成23年度

【自死対策研修会】

演題：自死遺族からのメッセージ

講師：しまね分かち合いの会・虹 代表 桑原正好 氏